


## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸聾	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input checked="" type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	器械運動（跳び箱運動）		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な技のポイントや補助の仕方について理解し、技を身につけることができる。</li> <li>・ 仲間との活動の中で自己の課題に気づいたり、仲間の動きを見て気づいたことを仲間に伝えることができる。</li> <li>・ 安全に気を配り、仲間と協力しながら授業に取り組むことができる。</li> </ul>		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	2・3 年 5 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動技能レベルに大きな差があるが、それぞれのレベルに合わせた技を用意すると、自分のレベルにあった技を選んで取り組むことができる。</li> <li>・ iPad の基本的操作は概ね一人で行える。</li> </ul>		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ iPad</li> <li>・ テレビ</li> </ul>		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Google class room</li> <li>・ カメラ</li> <li>・ NHK for School</li> </ul>		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 )		
	ICT活用のねらい	機器の操作を理解し、必要な機能を選んで使うことができる。 画像や映像を共有し、自己評価や他者評価をすることができる。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 Google classroom については、他の学習場面でも使用した経験があったため、データをアップロードしたり、コメントや添付されたファイルを即時に確認したりする活動は、生徒がほぼ一人でできた。また、カメラ機能についても、動画、写真と教師が指示した方法で撮影することができた。撮影した動画や写真を見て、上手くできたところを褒め合ったり、上手くできない場面では、NHK for School の「はりきり体育ノ介」を検索し、上手くできるコツを見て確認したりと、自分に必要な情報を選ぶことができた。教師も、生徒一人一人の技能について即時フィードバックしながら指導、評価できた。			